

北海道置戸高等学校 PTAだより

「前期を終えて」
PTA会長 井関 潤一

今年度、PTA会長を務めさせて頂くことになりました井関です。PTA活動に参加させて頂くようになり置戸町や置戸高校支援対策協議会の方々、置戸高校OBの方達や教職員の方々と一緒にさせて頂きお話しする中で、それぞれの置戸高校への熱意や思いに大変感銘を受けました。私も改めて責任感を感じると共に皆さんのそして、置高生の為に微力ながらお力になりたいと思っております。改めて宜しくお願い致します。

今年も新型コロナウイルスの影響で、学校では様々な授業や行事が制限されています。大きな目標を持って置戸高校に入学してきた1年生は、楽しみにしていた宿泊研修が無くなりました。去年大変な中入学した2年生は、ほとんどの行事や授業等が制限されてしまい、楽しみにしていた学校祭やよさこい、人間ばんばも未だに経験できていません。1、2年生には卒業するまでには何とか、置戸高校に入学したからこそ経験できる学校行事を精一杯楽しんでもらいたいですし、私自身も生徒の皆さんが晴天の中で汗をかきながら楽しんでる姿を、是非とも見たいと願っています。3年生も介護実習により本来、現場でしか見たり感じたりできないものが短縮になり、もっと学びたかったと思ってることと思います。しかし3年生には今まで楽ではなかった2年半を乗り越えてきた強さや信念があると思いますので、残り半年、このようなご時世ではありますが笑顔で置高生らしくラストスパートを駆け抜けてほしいと思います。

言うまでもなく、生徒達をコロナ禍の中でも感染対策や、様々な案を出しながら支援してくれている教職員の方々には感謝しかありません。置戸高校全員でこのコロナ禍を切り抜けてほしいと願っています。

「創立70周年目の年」
校長 小森 章史

PTA会員の皆様には、平素より本校の教育活動に對しまして、深いご理解と温かいご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年度も社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況の中、学校においては、感染症対策と子供たちの健やかな学びの保障の両立をどう図っていくかが課題となっております。

そうした中、創立70周年記念式典の開催は、やむなく中止となりましたが、記念事業は継続して行うこととし、その一つである、玄関前の補修工事については、本校と北見工業高校が互いの特色を生かした、共同の取組となっております。両校の生徒同士で、福祉や置戸町に因んだデザインを検討し、材料となるブロックの製作や敷設作業は工業高校の生徒により進められました。この取組の成果は、本校に形として、記憶として残り続けます。この取組が両校にとつて意義あるものとなり、今後さらに両校の交流が深まることを期待しているところです。

さて、本校の子供たちが、いま何を考え、悩み、学校生活を送っているかの声を聞くため、昼休み、校長室にて一人一人と面談をしております。その中で、将来の目標を尋ねると、コロナ禍にあっても懸命に介護の仕事に使命感をもって働いている姿に、心動かされ、「是非介護福祉士になり、人の役に立ちたい」と逞しく語ってくれる生徒や「医療系の資格を取り活躍したい」、「福祉以外の分野で、高校で学んだ福祉を生かした仕事をしてみたい」と、子供たちはしっかりと将来を見据えて、真剣に語ってくれます。私たちは、これからも続く福祉社会を担う人材を確保し、育成していくことが本校の使命と考え、子どもたちの多様な夢の実現に向け、福祉の本流は堅持しながら、幅広い教育内容を提供していきたいと考えています。来年度の入学から教育課程をリニューアルし、介護福祉士だけではない進路の可能性の広がるカリキュラムをスタートさせる予定であります。

本校創立70周年目の年に、コロナの現状を憂うのではなく、ピンチをチャンスに変える発想で、新たな置戸高校の未来の礎を築けるよう取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後共、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



入学式



校内実習



祝!

置高生 毎日頑張っています

70周年記念事業
インターロッキング制作



賞状授与式



高校生介護福祉研究発表大会



全国模試

成績通知表の見方について

教務部長 水谷 愛

本校では前期末と学年末に5段階の評価・評定で成績を出しております。考査の結果だけではなく、授業や実習での意欲、態度なども総合的に成績に反映されています。成績通知表を通じ学習状況や諸活動、出欠の状況等をお知らせすることで、学校と家庭が協力してお子様の成長を促していけたらと考えております。将来の目標に向け、今後、どのように学習に取り組んでいくべきかをご家庭で話し合うための資料としてご活用ください。

PTA事務局より

今年度はコロナ感染拡大防止対策のため、4月の授業参観、PTA総会、7月の学校祭も、9月に予定していたPTA研修会も中止となってしまいました。全道各地から集まる置高生たち。PTA会員の皆さんがそろそろ機会がなかなかとれないのが残念です。ホームページ、Facebook、Instagramで生徒達の頑張る姿、活躍の様子をたくさんお知らせしています。ぜひ、ご覧ください。

いいねやフォローお願いします!

ホームページ

Facebook

Instagram



今年度のPTA役員の方々は、平素より本校の教育活動に對しまして、深いご理解と温かいご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

どうぞよろしくお願ひいたしましませう。

娘は元々、将来や自分について、なかなか考えることがなかったようなので、私は厳しいうですが「目標がないなら高校進学はしなくていい」と言っていました。そんな中、たまたま観ていたテレビで置戸高校に福祉科があることを知った娘は、初めて自分が介護に興味があるということをお話しました。そして決意を持って置戸高校を受験することを決めました。

コロナ禍の中での受検、学校生活、寮生活は、思っていたよりも不便や不安があったと思いますが、クラスのみなどで助け合い、励まし合い過ぎていて聞いています。介護の勉強は初めて学ぶ内容で難しく、大変な思いをしているようですが、日々、頑張る成長していると思います。実習や施設見学もままならない状況ですが、だからこそ毎日を大切に大事に過ごして欲しいと思っています。

「置戸高校に入学して」
1年 佐々木 そよか



私は福祉について興味があり、置戸高校に入学しました。福祉といえば介護福祉士で介護を必要とする人を介助するという漠然としたイメージがありましたが、少しずつ福祉について学んでいくうちに、介助するだけではないことを知りました。

「福祉」には、幸せ・幸福という意味があります。なので、介護福祉士は介助するだけではなく、利用者様に幸せになってもらえるように考えて行動しなければならないと思いました。そのためには、利用者様と一緒にレクを楽しんだり、不快にならないような介助をしたりすることが必要だと思うので、これからの技術を習得するために勉学に励んでいきたいです。

私は将来、利用者を介助するだけではなく、幸せになってもらうためにはどうすれば良いのかを考えて行動できる介護福祉士になりたいです。実現できるように精一杯努力していきます。

「2年生になって頑張っていること」
2年 井関 蓮

私は介護福祉士を目指すために日々、勉強をしています。2年生になってから本格的に始まった校内実習では、おむつ交換や寝衣交換など個人ではもちろんのこと、クラス一丸となって努力しています。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で叶わなかった施設実習を今年度は、期間を短縮して行うことが出来ました。そこで学んだことは、事前に想定していたことと、実際の現場の違いです。利用者様に対する考え方も改めることができたり、実際の現場でのスタッフの皆さんの働き方からいろいろなことを学ばせていただきました。

2年生の大きな目標となる許可テストに向けて、今後もより一層努力してみんなで合格したいと思います。



「置戸高校へ進学した皆さんへ」
一学年PTA 佐々木 由枝

進路実現に向けて 進路指導主事 大森 涼太

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、本校での介護実習は期間を短縮して実施しました。昨年度実施できなかった分、2年生は5日間、3年生は3週間の介護実習を行い、その中で介護のやりがい、大変さ、働くとはなど多くのことを学びながら自分の進むべき道を模索し、進路決定につなげていくことができたと思っています。

3年生については、夏ごろより、進路決定に向け自ら動き出した姿にはたくましさを感じました。「この施設を見てみたい」、「話を聞いてみたい」など自ら動き出し、進学を希望する生徒も、コロナ対策を徹底してオープンキャンパスに参加するなど、通常通りの進路活動が難しい中、自分の夢を実現できる場所、頑張れる場所、力を発揮できる場所を一生懸命探していました。

どんな状況でも頑張れる、自分のやるべきことを見失わずに動くことができる、今できることは何かを考えることができる。3年生が身につけた強さをこれからの学校生活、国家試験合格に向けた勉強、そして、高校を卒業してからのそれぞれの道で発揮できる人であって欲しいと願っています。

「進路実現に向けて」
3年 石井 綾

今、私たち3年生は、進路や介護福祉士の国家試験に向けて勉強しています。進路の活動では、就職組は履歴書の作成を、進学組は提出する願書の記入などを行ったりしています。また、各自行われる予定の面接に向けて、質問項目について内容を考えたり、放課後には面接練習を行っているところです。3年生は仲の良いクラスなので、お互いに協力しながら、みんなで日々がんばっています。

国家試験に向けての取り組みでは、秋講習があり、模試を解き、解説をし続けています。3年生全員が国家試験まで勉強が続く大変な日々を送ることは自覚していると思います。しかしながら、今までの2年半、校内実習や許可テスト、介護実習など多くの壁を乗り越えてきた3年生なので、それを自信にして、絶対に全員で介護福祉士国家試験に合格して、笑顔で卒業したいです。



インターロッキングが完成しました！

本校生徒玄関前のインターロッキングの改修作業が北海道北見工業高等学校の建設科の皆さんにより、8月30日から2週間程度をかけて行われました。

デザインは本校生徒会が発案し、全校生徒で考えました。置戸高校らしさがある素敵なデザインです。ぜひお越しの際は、ご覧ください。

